

4

(1) $A \div 60 = \textcircled{\text{商}} \xrightarrow{\text{四捨五入}} 90.5$

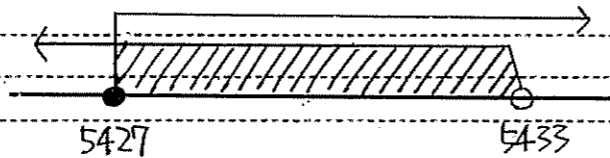
まずは、四捨五入する前の商を考えると、

90.45以上 90.55未満

では、60でわる前は、

$90.45 \times 60 = 5427$ (以上)

$90.55 \times 60 = 5433$ (未満)



ここで注意しなくてはならないのが、5427はふくまれるが、

5433はふくまれないということである。

よって、整数Aとして考えられるのは、 $5427 \sim 5432$

までの整数ということになる。

したがって、

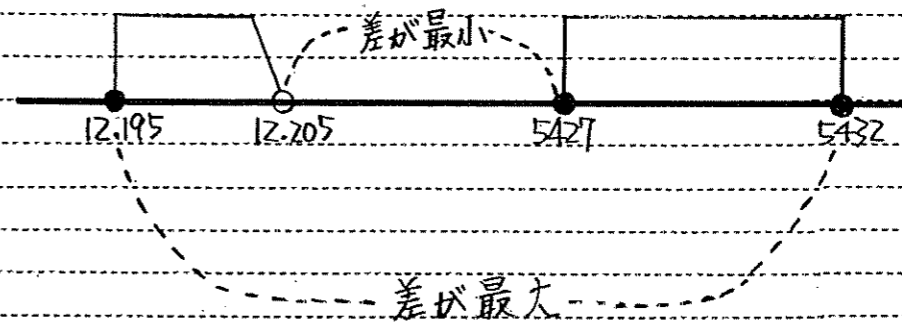
$5432 - 5427 + 1 = 6$ (個)

答 6個

(2) まずは小数Bの範囲を求めると、

12.195以上 12.205未満

次に、整数Aと、小数Bの範囲をまとめてみると、



よって、

差が最大のときは、答 5414.795 より大きく 5419.805 以下

$5432 - 12.195 = 5419.805$

差が最小のときは、

$5427 - 12.205 = 5414.795$ ← *下記参照

したがって、

5414.795 より大きく 5419.805 以下

(* 12.205 に未満がついているため、差は最小でも 5414.795 よりも少しだけ大きくなる。